



# 創誠健和



旭川中学校 学校通信 8月号

## 2学期スタート!

令和4年8月22日発行

地域移動等に対する行動制限のない夏休みが明けました。この夏休みは、コロナの第7波、台風や豪雨災害、震度5を超える管内での地震など、気の抜けない様々な出来事がありましたが、本校生徒に関しては、大きな事故等の報告もなく、本日より、2学期をスタートさせることが出来ます。今学期も、各ご家庭はもとより、地域の皆様とともに、子どもたちの豊かな学びをサポートして参りますので、変わらぬご支援、ご協力をお願いいたします。



## 全国中学校体育大会出場

## 北海道吹奏楽コンクール出場

今年度の全国中学校体育大会は、北海道・東北ブロック共同開催で、「咲かせよう君の花 北の大地とみちのくで」を大会スローガンとし、8月17日(水)より北海道・東北の各地で熱戦が繰り広げられました。

1学期終業式に行った各大会への壮行会では、歴史ある旭中の代表としての健闘を約束し、「あさひやまプライドプロジェクト」の一貫として「正々堂々戦う」「練習の成果を発揮する」など、各部代表により宣誓されましたが、水泳や体操、吹奏楽部など、参加した全ての大会で優秀な成績を収め、全国大会へは、男子卓球部と女子ソフトテニス部が北海道の代表として出場し、旭中の名を全国に届ける大健闘でした。また、吹奏楽部は、2年連続で見事に「GOLD金賞」で全道大会へ進出し、東日本への代表権を目指します。今後も、旭中生の活躍から目が離せません。変わらぬ、地域ぐるみの応援をお願いいたします。

◇女子ソフトテニス部:個人戦は旭川市中体連地区大会で準優勝→全国大会出場(旭川市で開催)

◇男子卓球部:団体戦は準優勝、個人戦は浦崎優勝・野原9位→全国大会出場(苫小牧市で開催)

◇吹奏楽部:旭川地区吹奏楽コンクール金賞→北海道吹奏楽コンクール出場(札幌市で開催)



## 佐藤操教諭が

## 1年間の研修へ

1学年で英語を担当する佐藤操教諭が9月中旬より、イギリスのレスター大学大学院において、さらに英語力を高める研修を行うことになり、1年間、休職させていただくことになりました。このチャレンジを、ご理解いただき、応援していただければ幸いです。1年後には、本校にパワーアップして復帰することになります。休職する期間は、期限付で英語等を担当する教諭が採用され、後を引き継いでいただきます。新たな教諭については、改めて9月号でご紹介します。



### 【生徒の皆さんへ】

「旭中生に負けないよう、勉強し、知見を広げその成果を還元できるよう、精一杯、元気に笑顔で努力して参ります。」(佐藤 操)

## 教育実習始まる

明日、8月23日(火)より9月16日(金)までの期間で教育大学旭川校より4名の教育実習生を受け入れます。

未来に向かって子どもたちを豊かに育むためには、学びを支える教員の存在は不可欠です。そのような中、昨今、教員のなり手不足なども指摘されていますが、北海道では道内の大学と連携し、インターンシップ事業やいわゆる教師養成塾の取組を展開するなど、教師の魅力伝えるための様々な実践が行われています。

本校においても大学と連携しながら実習生を受け入れ、教職員はもとより、生徒とも一緒になって、素敵な学びの場を提供していきたいと思ひます。

# 「今、家庭でできる1UP」 PTA

「我が家の親子エール」等々、この夏休み中、PTAによるキャンペーンが実施されました。どのような取り組みになったのか結果が楽しみです。家庭における取り組み内容を子どもたちにアンケート調査で質問しますので、今一度、各実践内容等を確認しておいて下さい。アンケートは、明日8月23日(火)に実施する予定です。



## チーム担任制について

今年度より導入した「チーム担任制」についてアンケート調査を生徒に対して実施しました。アンケートの内容は、「教員との会話の機会の増減」と「相談のしやすさ」についてです。約8割の生徒から「機会が増え、相談しやすくなっている」との肯定的な回答がありました。一方で、「誰に相談すれば良いか分からないときがある」「先生によって違うことを言われることがある」「提出物を誰に出せばよいのか迷うことがある」などの回答もあったことから、これらの内容については、すぐに改善できるよう、各学年で本日より対応して参ります。今学期もスピーディーに、前向きに改善しながら、チームで学年経営を進めて参りますので、各ご家庭においても何かお気づきの点などございましたら、学校までお知らせ下さい。

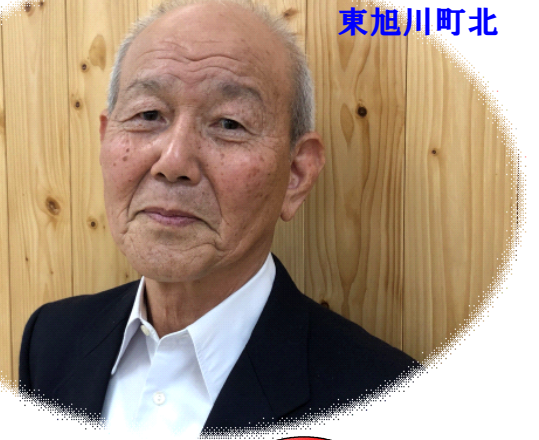
## 「あさひやま」に生きる人々のストーリー「Pride Project」

講道館柔道5段で旭川柔道連盟理事。本校で外部指導者を8年間務めていただく柔道普及のパイオニア

東旭川生まれの旭小・旭中OB。名門旭川龍谷高校柔道部で修業。北海道の伝統文化の継承に心血を注いだ民芸品彫師。40周年を迎える「東旭川柔道場」創設当初からの指導者。何百人という教え子は、自衛官や刑務官・消防士など、柔道を活かした職業で活躍。本校柔道部の復活に尽力。今年度の団体戦初優勝に導く。職人として培ったきめ細かな手さばき、強靱な精神力を武器に、実践的で緻密な技術はもとより、礼法・礼節の大切さを厳しさと優しさをもって、後ろ姿で若々しく伝授して下さる。現在は、自身の孫とともに笑顔で汗を流す日々。町内会の役員をはじめ、神社委員を務めるなど、地域活動にも貢献する東旭川のPRIDE！

「柔道「地域貢献活動」を通して、あさひやまの互助精神継承を願う有徳の人

古井戸 喜三治 さん <76>  
東旭川柔道場総責任者  
東旭川町北



## あさひやまの次世代に贈る メッセージ！

柔道部の外部指導者として時より訪問させていただきます。旭中生の「おはようございます」「こんにちは」の挨拶を聴くたび、気持ちが引き締まり、元気をもらい、自然と明るくなっている自分に気づきます。私の中学時代は、もっともじもじしていたようにも思いますが、皆さんには他人に活力を与えるパワーを感じます。皆さんは、地域の担い手として奉仕活動にも参加していると伺いました。他の人、社会の為に役立つ活動を体験する中で、社会の一員であることを自覚し、より豊かな社会の実現に向けて活動を続けて欲しいものです。柔道部では、部員の怪我などに対して、先輩がテーピング等で手当てをしています。そんな姿から「思いやり」の心を持って稽古に励んでいる事を感じます。この気持ちをいつまでも持ち続けてください。旭中ファイト！

あさひやまPride Project

あさひやまを愛し  
あさひやまに生きるヒトのヒストリー